



みよしの映画人。



ヒロイン サキ役

朝雛 香世 (34)

Asahina Kayo

この物語のヒロイン。OLとして働きながらの参加。思い出はダンスシーン。振り付けをなかなか覚えることができずに、逃げ出したくなることもあった。

監督・脚本

吉村 豪 (38)

Yoshimura Suguru

妻から「映画が好きなら作るところも体験してみれば」とチラシを見せられたことがきっかけで参加。5人の子どもを育てながら映画を作りあげた。

参加者のなかから、監督、カメラマン、主人公の二人に代表として感想とお話しを聞きました。



message

参加した皆さん、本当に素敵な人ばかりでした。子どもたちは気さくに話しかけてくれるし、お菓子もくれる(笑)。大人も好奇心旺盛で楽しかったです。今はお祭りが終わってしまったような寂しい感じです。笑い声が絶えない、楽しい撮影となりました。次回があるならもっと覚悟を持って、本気で臨んでみたいです。



message

映画づくりのすべての工程を体験できたのは素晴らしい経験となりました。無事に撮影が終わった安堵感と、もうこれで終わりなのかという寂しさが混在しています。印象に残っているシーンは、幼いサキと竜太郎が川越街道で手を繋ぐシーンですね。次回があれば、ぜひ参加したいと思います。妻の許しを得られれば(笑)。



主人公 竜太郎 役

森 啓太 (26)

Mori Keita

この物語の主人公。チラシに書いてあった「三芳」「映画」のキーワードを見てすぐに応募。三芳町を盛り上げること、映画の流れを自分自身で体験してみたいという思いから参加。



カメラ・撮影

穴澤 竜司 (43)

Anazawa Ryuji

チラシを見て参加。今まではカメラと無縁であったが、プロジェクトに参加し撮影の魅力にとりつかれた。趣味はスキューバダイビング。



message

今は、「やった！終わった！でもなにか寂しいなあ。」という気持ちです。ロケ地までのバス移動が小学生と一緒に遠足みたいで楽しかった。ひとつの作品を作るのに、こんなに人が携わるとは思いませんでした。次回があれば……、今は全力を尽くしたので少し充電したいですね(笑)。



message

とにかく楽しかったの一言です。映画づくりは、いろいろな人が関わり、文字通り共同作業でないとできない事だと感じました。撮影していて一番記憶に残っているのは結婚式のシーンですね。プロからの指導を受けたり、本格的な編集スタジオも見ることができ、何よりも、たくさんの人に出会えたことが良かったです。

小学生のサキ役を演じてみて……。



榎本 愛梨 (10)
小学生のサキ役

皆さんと一緒に映画作成ができて楽しかったです。一番心に残っているのは、校長先生のものまねをした公園のシーン。今回の映画では、一人ひとりにセリフや出番があってよかったです。次があればぜひまた参加したいです。

榎本さんはこの映画で、大人顔負けの落ち着いた演技をみせてくれました。

※インプロヴァイゼーションとは、インプロロとも呼ばれ、アドリブで即興劇を行います。

対象…小学生以上定員30人(予定)

料金…1000円

講師…絹川友梨(インプロワークス)

会場…コピスみよし

日時…6月8日(出)午後2時から

プロヴァイゼーションを学べます。

演技(インプロ)ワークショップ開催



絹川さんは、ストックホルム国際映画祭で主演女優賞受賞。国際的に活躍している。

映画雑学

カチンコの役割とは？

映画の撮影では、映像と音声を別々に記録します。編集の際にはその二つを同期しなければなりません。そこで、カチンコが打たれた瞬間の1コマと音声の「カチン」という音を合わせることで、同期させるのです。また、映画はシーンを繋ぎ合わせて一つの作品となっています。あとで編集しやすくするため、「シーンナンバー、カットナンバー、テイク数」を書いておきます。

NGはなんの略？

「NO GOOD」。本番ではあまりないようにしたいものです。



映像と音声を同期する大切な役割がある。この写真ではシーン24・カット1・4テイク目であり、NGが3回あったことがわかる。